

佐伯利彦議員



- (一般質問)
- 1 西条市母子寡婦福祉連合会への補助金について
 - 2 有機フッ素化合物(PFAS)について

本市における安全性は？

問

国は、水質管理目標設定項目で、一万種類以上あるPFASの代表物質である、PFOS、PFOAの合算値を1リットル当たり50ナノグラム以下とする暫定目標値を定めている。

令和4年度に環境省などが行った調査では、全国16都府県の河川や地下水など111地点で暫定目標値を超える濃度が検出されているが、本市の水質検査の結果はどのようになっているのか。

また、今後どのように検査を行っていくのか。

答

本市においては、令和6年2月にモニタリング調査として、14か所の給水栓及び2か所の飲用井戸で水質検査を実施したところ、いずれも暫定目標値を大きく下回っており、安全性に問題がないことを確認している。水質検査結果については本市ホームページに掲載している。

今後においても、国の動向と暫定目標値の取り扱いについて注視しながら、モニタリング調査を継続し、安心・安全な飲用水の供給につなげていきたいと考えている。

川又由美恵議員



- (一般質問)
- 1 AEDについて
 - 2 NHK朝ドラの誘致について
 - 3 広報紙の充実について
 - 4 市長選挙における公約について



良好な雪質の石鎚スキー場

高所トレーニング場は

ほんとうに必要？

問

高所トレーニング場開設の可能性について、調査・研究していくとのことであるが、調査・研究するにも費用が発生する。要らないものに無駄なお金を使うのではなく、物価高騰などで市民の生活が苦しくなっている今、もっと市民に必要なものにお金を使う必要があると思うが、高所トレーニング場はほんとうに必要なものなのか。

答

高所トレーニング場の開設に当たっては、市民の声をしっかりと聞きながら、必要の可否について調査・研究していきたい。

建設を想定している石鎚成

藤井武彦議員



- (一般質問)
- 1 農地の貸借制度の改正について
 - 2 農業振興について

農地の貸借制度改正後の窓口はどうなる？

問

農業経営基盤強化促進法の改正により、農地の貸し借りは、令和7年4月から原則として農地中間管理機構経由となるが、市の対応窓口はどうなるのか。

答

農地中間管理事業に関する業務は、現在本庁に集約しているが、制度改正に伴う業務増に対して、本庁と西部支所で受付や相談などの窓口機能を持たすなど、業務分担の最適化が必要であると考えており、業務運営に支障が生じないよう、利用者の利便性に配慮した実施体制を整備していきたい。

市長の考えは？

高等教育研究センター開設

問

農業の振興を目的として丹原地区に農業などの高等教育研究センターを開設するのか。

答

人材育成と農業全般の発展のための大学を想定しており、詳細については今後、調査・研究していきたい。